

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市観光県外PR事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	各種イベントやマスコミへの露出を増やすことによって、実際に市へ訪れる観光客を増加させる。						
事業の概要	観光情報等を掲載したパンフレット・HP等を作成し、県内外に市のPRを行い観光客の誘客を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	8,090		5,338		2,951	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	マスコミへの露出件数	件	94	88	50	70
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	喜連川温泉やポピー園を中心とした観光素材をもとに商談会等に参加したが、結果として商品化には至らず、マスコミへの露出件数も実績を伸ばすことはできなかった					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川温泉利用促進事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	笹沼 雅			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	喜連川温泉が多くの人に認知され、より多くの人を訪れてくれる。						
事業の概要	市営温泉を中心とした喜連川温泉のPRのための広告を掲載する。 温泉に関連するグッズを作り、さらにPRする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	370		1,312		943	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	市営温泉客数	人	442,291	462,202	300,000	370,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	源泉ポンプの故障による休業が生じてしまったが、早急に復旧をすることができたため利用者の減少には至らなかった					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域支援パートナー事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	市の活性化（健康づくりや青少年育成等）やPRに繋がる						
事業の概要	観光情報等を掲載したパンフレット等を作成し、県内外に市のPRを行い観光客の誘客を図る。栃木SCの支援をすることにより、さくら市のPRを展開する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,300		4,300		4,300	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	さくら市民デー時の参加人数	人	5,894	5,341	6,000	6,500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対戦相手や天候等に左右されるため、目標値を下回ってしまったが、平均来場者数を上回ることができたため、例年程度の観光PRを実施することができた。 また、サッカー教室や健康教室等の開催により栃木SC関係者からの専門的な指導を受け					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市魅力等発信事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	山田知明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	観光PRの充実				
事業の目的	さくら市の魅力を伝える。						
事業の概要	○エフエム栃木と業務委託契約締結 ・さくら市の情報をFM栃木にて発信する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,496		1,502		1,524	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	番組の年間平均聴取率	%	-	-	-	-
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	・さくらブランド、喜連川温泉、雛めぐり、ゆうゆうパーク桜まつり、喜連川商工桜まつりのCMにより効果的なPRやイベントの周知ができた。 ・氏家商工まつり及びきつれがわ花火大会の生中継を実施し、イベントを盛り上げることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	商工まつり支援事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	笹沼 雅			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会が活性化する ・市のイメージがアップする。 						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会が実施する「商工まつり」の事業経費の補助を行う。 ・氏家商工会と喜連川商工会にそれぞれ交付。 						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,500		5,500		5,500	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	商工まつり参加者数	人	45,000	38,000	0	45,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	イベント開催当日が悪天候のため入り込み数が計画人数を下回った					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	暮市・花市開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	伝統行事が継承され、市街地ににぎわいを創出する。						
事業の概要	暮市・花市実行委員会への補助金。毎年、それぞれ1回開催。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	94		173		94	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	暮市・花市開催回数	回	2	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	例年通り暮市・花市を実施した					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種イベント開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	笹沼 雅			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	イベント開催を通じ、観光客の増加等により、市内への交流人口の増加の増加もめざす。						
事業の概要	市内外の各種イベントの開催により、中心市街地活性化と観光客の集客向上を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,074		4,370		5,602	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	観光客入込数	人	1,895,294	1,954,537	1,450,000	1,660,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各種イベントの内容に大きな変化はなかったが、道の駅の集客効果が影響し観光客入込数が増加している。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	総合交流ターミナル施設維持管理事業			事業開始年度	平成15年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	笹沼 雅			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光施設の維持管理				
事業の目的	快適に道の駅を利用してもらう。						
事業の概要	道の駅きつれがわ総合交流ターミナル施設の維持管理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	139,086		77,361		90,743	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	施設修繕発生件数	件	7	7	10	10
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	修繕工事については、利用者への影響を最小限に抑え実施することができた					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	温泉施設維持管理事業			事業開始年度	昭和57年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光施設の維持管理				
事業の目的	温泉利用者に喜んでもらえる施設管理を、限られた経費の中で効率よく行い、市民にも、市外の利用者にも親しまれる温泉施設の運営を行っていく。						
事業の概要	指定管理者制度で第1温泉浴場、第2温泉浴場を一般財団法人さくら市観光施設管理協会に委託。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	48,115		40,089		54,022	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	温泉施設年間利用者数	人	265,963	263,812	211,000	
	成果	指定管理料	千円	18,000	19,500	20,800	20,800
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	道の駅温泉を株式会社道の駅きつねがわの運営に切り替え、また、利用料金制度を導入したことにより、指定管理料の減少に繋がっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	観光協会振興事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	笹沼 雅			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市のイメージアップ及び観光客の増加。それによって地域の活性化を促す。						
事業の概要	市観光協会への補助金。 氏家観光協会と喜連川観光協会へそれぞれ交付。観光事業を行ってもらう。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	20,430		20,899		18,906	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	活動	マスコミ露出件数	件	94	88	50	70
	活動	観光協会主催事業数	件	5	9	7	9
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	H29より氏家観光協会の事務局を市商工観光課より独立。今後、「さくら市観光協会」設立に向けて、少しずつではあるが協議の場が増えている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	シティプロモーション事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	池田真規		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市の魅力を市内外に発信する為の事業を実施し、交流・定住人口の増加を目指す						
事業の概要	さくら市シティプロモーション戦略に基づき、効果的な事業を実施し、交流人口、定住人口の増加を目指す						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	64,434		19,890		24,585	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画
	成果	年間観光客入込数	人	1,895,294	1,954,537	1,450,000	1,660,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	リニューアルした道の駅きつれがわと合わせて、さくら市の観光資源や首都圏からの移住先としての魅力を様々な手法でPRし、交流人口である年間観光客入込数の増加に寄与した。但し新型コロナウイルスの影響を受け、事業実施が一部できなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		